

- ・全国へき地教育研究大会関連
- ・「道へき・複連情報」
- ・地区へき・複連情報 など

位に心より感謝とお礼を申し上げます。
新聞掲載については、順次掲載され、情報、実践の交流がなされております。

(2)「全国へき地教育新聞」関係

①「全国へき地教育新聞」拡大の取組

総会等において以下の意義や理由、利点を踏まえ購読拡大の取組をお願いしてきました。

- ・「全国へき地教育新聞」は、全国へき地教育研究連盟が編集し、教育新聞社が発行するもので、全へき連とへき地・複式校を結ぶ唯一の機関紙である。内容は、各種教育情報や教育研究大会情報、教育研究実践を発表するなど、我々がつくる我々の新聞である。
- ・「全国へき地教育新聞」は、読者の購読料によって刊行されており、数の減少が発行を困難にする大きな要因になってきている。
- ・各地区へき・複連の財政に多少の貢献がある。各地区へき・複連で納入する場合、一部につき150円の還元がある。

③「全国へき地教育新聞」の執筆原稿送付について
平成19年度の原稿執筆送付については、次の通りお願いしました。

全国へき地教育新聞編集局の依頼で、「全国へき地教育研究連盟」行きの封筒に「原稿とフロッピー」を入れることになっていきますので、次年度もそのようをお願いすることになると思われます。ただし、次年度、一部記事の見直しがある予定です。

④「全国へき地教育新聞」の《原稿種別》

1. 論評（市町村教育長、各局指導主事）
2. 山紫水明（校長）
3. 随想（教頭、教務主任、学級担任など）
4. 心温まる話（どなたでも）
5. 私の推薦する一冊の本（校長、教頭他）
6. やすらぎ保健室（養護教諭）
7. さわやか事務室から（事務職員）
8. わが町・わが学校（保護者）
9. 研究実践校紹介（実践校）

「全国へき地教育新聞」原稿執筆者地区別一覧

（平成19年度原稿本数38本）

原稿種別番号	8月	9月	10月	11月
1	◇	日高	◇	渡島
2	後志	宗谷	網走	釧路
3	檜山	空知	釧路	日高
4	胆振	後志	留萌	十勝
5	渡島	上川	根室	宗谷
6	日高	石狩	空知	後志
7	網走	十勝	胆振	檜山
8	根室	網走	上川	留萌
9	宗谷 空知	胆振 檜山	十勝 渡島	上川 石狩

＜取組の手立てとして＞

- 各地区へき・複連で地教委等、関係機関に購読料の予算化を働きかける。
- 各地区へき・複連の会議、会合などで購読を呼びかける。（今年度は、新たに全道大会にてサンプル紙の配布を伴った呼びかけを実施した。）
- 各地区へき・複連に「全国へき地教育新聞」担当者または係を置くようにする。

以上のように、各地区へき・複連のご協力をいただき、購読拡大の取組をしていますが、思わしい拡大につながっていないのが現状です。今後ますます統廃合や町村合併、市町村財政逼迫等により購読数が減少することが予想されますが、「全国へき地教育新聞」の「へき地・複式・小規模校交流の場、情報交換の場」としての意義を理解していただき、今後さらに個人購読も含め、購読の働きかけを強く呼びかけていく必要があります。

②「全国へき地教育新聞」原稿執筆の取組

原稿種別、送付月を地区毎に割り振り執筆をお願いしました。各地区へき・複連のご協力と執筆者各